

第 172 回学校体育研究同志会全国研究大会 飯能大会

子どもたちの心身がひらかれ響きあう、運動文化のゆたかな学びを
～いまこそ、体育・健康教育を問い直そう！～

戦後80年が過ぎ、国内外での政治的緊張の高まりや戦争により、【分断・排除・差別・憎悪】の空気がたち込めています。こうしたなか、子ども・若者たちのやわらかな感性は実に深刻な影響を受けています。さらにその心身はモニターの前に囚われ流れゆく映像と情報の波にさらされ、過剰な気遣いや他者からの評価に息強く強張っています。

不登校の児童・生徒が35万人をこえたという状況にも胸が痛みますが、いったいその何倍の子ども・若者たちが生きづらさを抱えていることか。私たちは保育・教育の現場に身を置くものとして、平和を希求するとともに、彼らを慈しみ守り、その生を励ましていかなければなりません。

2023年愛知みはま大会が提起し2024年みやぎ松島大会が発展させた「ともに」の世界や、2025年大阪岸和田大会が掲げた「それ、ええやん」に象徴される、【連帯・包摂・平等・共感】の砦をより確かなものとするために、2026年埼玉飯能大会では、「心身がひらかれ響き合う」、そんな実践の創造を目指して、さらに前進したいと思います。

皆さん、森と清流のまち飯能以、この新たなうねりをより大きなものとするべく集いましょう！

同志会が築いてきた実践の宝に学び、継承発展させていきましょう！

主催：学校体育研究同志会

主管：学校体育研究同志会全国研究大会 飯能大会実行委員会

後援：飯能市教育委員会・飯能市・一般社団法人 奥むさし飯能観光協会・駿河台大学

協賛：一般社団法人 Moonlight Project

大会日程 2026年8月7(金)～9日(日)の3日間

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
7日 (金)		全国総会 9:00～11:00	研究員会議 11:00～12:00	受付 12:00～	開会行事・記念講演 13:00～15:15		分科会① 15:30～17:00		移動		市民(特別)講座 18:30～20:00	
8日 (土)	受付	分科会② 9:00～12:00		昼食	分科会③ 13:00～16:30			移動	受付	文化交流の夕べ 18:00～20:00		
9日 (日)	受付	分科会④ 9:00～11:00	移動	閉会行事 11:30～12:30	研究員会議							

【7日(金)】

開会行事・分科会 ①

〔駿河台大学〕

〒357-0046 飯能市阿須 698

- ・元加治駅(西武池袋線)スクールバス約5分又は徒歩約20分
- ・東飯能駅 東口(JR 八高線・西武秩父線)スクールバス約15分
- ・金子駅(JR 八高線)スクールバス約8分

市民(特別)講座〔飯能市内地区行政センターほか〕全6講座からお選びください

【8日(土) 9日(日)】

分科会 ② ③ ④

〔自由の森学園〕

〒357-8550 飯能市小岩井 613(自家用車乗り合わせ、またはバス移動)

〔大川学園高等学校〕

〒357-0016 飯能市仲町 16-8 (飯能駅北口徒歩3分)

〔飯能市立第一中学校〕

〒357-0021 飯能市双柳1-1(東飯能駅東口徒歩9分)

〔飯能市立富士見小学校〕

〒357-0021 飯能市双柳1-1(東飯能駅東口徒歩8分)

〔飯能市総合福祉センター〕

〒357-0021 飯能市双柳 371-13(東飯能駅東口徒歩7分)

〔飯能市富士見地区公民館〕

〒357-0021 飯能市双柳1-16(東飯能駅東口徒歩8分)

文化交流の夕べ〔ホテルヘリテイジ〕(飯能駅ビル内) 大会参加者の親睦と交流です！

【9日(日)】

閉会集会〔はんしんホール〕〒357-0021 飯能市栄町24-9(東飯能駅東口駅前 飯能信用金庫9階)

◆開会行事 記念講演 「原爆の図」から世界を見る

丸木美術館の活動から 人間の痛みを伝える絵画の歴史



岡村幸宣氏 原爆の図丸木美術館 専務理事・学芸員

1974年東京都生まれ。丸木位里、丸木俊を中心に社会と芸術表現のかかわりについての研究、展覧会企画などを行っている。著書に『非核芸術案内—核はどう描かれてきたか』（岩波書店、2013年）、『《原爆の図》全国巡回—占領下、100万人が観た！』（新宿書房、2015年）、『《原爆の図》のある美術館—丸木位里、丸木俊の世界を伝える』（岩波書店、2017年）、『未来へ—原爆の図丸木美術館学芸員日誌2011-2016』（新宿書房、2020年）、『丸木俊—「原爆の図」を描き世界に戦争を伝える』（あかね書房、2023年）。主な共著に『「はだしのゲン」を読む』（河出書房新社、2014年）、『山本作兵衛と炭鉱の記録』（平凡社、2014年）、『〈原爆〉を読む文化事典』（青弓社、2017年）。

※原爆の図丸木美術館：画家の丸木位里・丸木俊夫妻が、共同制作《原爆の図》を、誰でもいつでもここにさえ来れば見ることができるようという思いを込めて建てた美術館。（残念ながら現在改装中、リニューアルオープン 2027年5月5日開館60周年記念日に予定）

◆市民（特別）講座 8月7日（金）18:30～20:00 ◆会場：（市内公民館等）

	市民(特別)講座タイトルと講師	内容	会場
I	『森林都市：飯能の学校にできること』 講師：鬼沢真之氏(自由の森学園理事長)	中学生全員が学ぶ総合学習「森の時間」、高校選択授業「林業」「飯能地域研究」「森と生きる」などを通して中高生は何を学び、どう生き方につなげているのか。さらにウッドチップ・ボイラーの導入やてんぷら廃油による校用車運行など、自由の森学園のユニークな実践に学びます。	飯能1丁目クラブ
II	『 ^{がんばりや} 顔晴り屋に会いたくて～卓球大好きっ子たちとともに／そして「せせらぎ杯」～』 講師：岡部一宏氏(大川学園高等学校前校長・現卓球部監督／駿河台大学客員教授)	卓球の専門家ではない顧問が中学校・高等学校における部活動(卓球)で奮闘した(している)実践です。あわせて部活動を土台に地域との連携を大切にした手づくりの卓球大会(せせらぎ杯)について報告します。	飯能中央地区行政センター
III	『水俣病から宝物を伝えるプログラム』 講師：加藤タケ子氏(一般社団法人きぼう・未来・水俣代表)と胎児性患者さんの共同トーク	水俣病に苦しみの体験をした患者さんが、決してあきらめなかった「きぼう」を語ります。それは患者の人生の肯定につながるとともに、語りの場に居合わせる人達は、悲惨なだけのイメージの水俣病から、そこに生きる患者さんたちの人間としての豊かさに気づかされることになるでしょう。	ホテルマロウドイン飯能会議室
IV	『同志会の歴史を第一世代から学ぶ』 講師：永井博氏、早川武彦氏、進藤省次郎氏、村上修氏、高津勝氏 コーディネーター：平田和孝氏 協力：EGG	体育同志会創設者である丹下保夫没後60周年よせて、戦中体験からの深い反省のなかから、体育科教育の根源性を問い、絞り出すようにして生まれた丹下さんの運動文化論の根源にあったもの、生き方・人間性・人柄・思い・教育論を中心に、関係者による思い出を交えた座談会を行います。丹下さんを突き動かし情動を関係者からお聞きします。	飯能1丁目クラブ
V	『体験型！からだワークショップ！～からだを通して学び、深める～』 講師：中村咲野氏(埼玉支部・筑波大学附属坂戸高校)	わたしのカラダにとっての“気持ちよさ、心地よさ”って、どんな感覚…？本ワークショップでは、参加者ご自身のカラダをほぐし、ゆったりと呼吸することからスタート！カラダから出発する体育実践の現状と可能性に迫ります！	双柳地区行政センター
VI	『みんなで叩く！笑顔で叩く！和太鼓(おやこ)ワークショップ』 講師：山口裕睦氏 ほか(太鼓集団響 一般社団法人 Moonlight Project)	太鼓集団響が講師となる和太鼓体験です。ぶちあわせ太鼓(神奈川県)を参加者で叩きます。経験未経験を問わず、ご参加いただけます。お一人様の参加も大歓迎！保護者の見学も可。国内外と幅広く指導実績のある響メンバーが丁寧にお伝えします。	加地東地区行政センター

※市民（特別）講座は大会参加者以外、どなたでも無料で参加いただけます。

◆分科会

大会では全18分科会(3日間で4コマ)を行います。下の表を参照いただき、その中から1つを選んでお申込みください。分科会名に網掛けのあるものは2日目に実技研修があります。

No.	分科会名	分科会紹介
1	陸上運動	ここ数年、陸上分科会では「投げる」について研究を進めてきました。何のために、なぜ「投げる」のか。身体の中で起こっている仕組みや、子ども達がうまく「投げる」ための授業づくりについて、実践報告や実技を通して一緒に考えてみませんか。
2	器械運動	子どもも教師も「マット・跳び箱・鉄棒」が楽しく！やりたくなる！そんな研究を目指しています。実践提案を、報告者の思い・技術指導の系統性・子どもたちの変容等の視点から実技もまじえて検討します。
3	水泳・水辺文化	みんなが泳げるようになるためには、どうしたらいいかを追求した結果生まれた「ドル平泳法」。教師が教え込むのではなく、子ども同士で見合いながら上手くなっていく授業。うまく泳がせるだけでなく、水泳で何を学ばせるのかを追求します。
4	サッカー	サッカーの授業づくり(子どもたちが興味深く取り組める教材開発、学び合いによる学級集団づくり等)について考えていきます。久しぶりに中学校でのサッカー実践も検討します。参加されるみなさんのニーズを大切にしながら、サッカーという文化が持つ可能性を実践的に、研究的に、あるいは活動的に、ともに探究しましょう。伝統の東西対抗戦も実施します!!
5	フラッグフットボール	戦術を学び、みんなが活躍できるボール運動の授業づくりを行います。実技では基礎となる戦術的課題や技術を学びます。小学校6年生の実践提案を「作戦が発展するゲーム」をキーワードにして検討します。
6	バスケットボール	楽しければよいとするのではなく、「バスケットボールで何をこそ学ぶべきか」「どのように授業を組み立てるのか」などに焦点をあてて研究を進めます。また、授業中に起こる子ども同士のトラブルや技能獲得上のつまづき、ふとしたつづやきも大切な学習につながります。実践報告・実技を通して、参加者にとって充実した学びとなることを目指します。
7	バレーボール	バレーボールのもつおもしろさは何なのか、参加者とともに議論し、バレーボールの本質にせまります。そして、バレーボールで学べる内容を整理し、小学校低学年から高校まで、どの子も夢中になって取り組めるバレーボールの指導の系統や授業のつくり方を、実技と実践提案の検討を介して明らかにしていきます。
8	ベースボール	ベースボール文化の特質を明らかにし、基礎から系統的に学ぶ授業づくりを研究します。そして、大谷、ドジャースの戦法をベース3on3にしっかり活かすためのドリルを理論と実技を通して紹介します。
9	表現・民俗芸能・ダンス	自分の「からだ」への認識を高め、自然で、合理性のあるからだ使いや、他者との関わりから生まれる表現の面白さや可能性を追求していきます。表現運動、民舞、太鼓、ダンス、からだの学習等の授業・行事づくりを主とした実践について、レポート討議と実技を通して深めていきます。
10	体育理論の授業づくり	子どもたちや地域がおかれているスポーツをとりまく環境や状況を見据え、実技だけでは学ぶことができない「体育理論」(教室でする体育)の実践を検討します。本分科会を通して「体育は何を教え・学ぶ教科であるか」を追求し「スポーツ文化の主人公」となる授業づくりを論議します。
11	健康教育	からだの学習、健康課題に向き合う学習のあり方について、様々な実践を踏まえて考えます。当日は水俣病当事者の方を迎えてのリアルな議論を展開する予定です。また、スマホ実践、性の実践とともに、今後どの発達段階においても見過ごせない健康課題を取り上げます。さらには、授業の枠を超えた学校づくりの視点についても大いに議論したいと思います。
12	特別なニーズのある子どもと体育	どの子どもにも五感で感じる世界があるからこそ、その感覚を大切にしていく必要があります。多様なニーズのある子どもたちが、何を感じ、楽しんでいるのかを読み取り、みんなとともに、わかる、できる、つながれる教材、授業づくりが求められます。一緒に考えましょう。
13	小学校 全学年	小学校分科会は、学級づくりを視野に入れて体育の授業をどう進めたらよいかを学び合います。教室には多様な子どもたちがいます。そんな子どもたちに体育で何をどう教えていけば、体育の楽しさや学ぶ喜びを味わい、友だちとの絆を深めることができるか、実技と討論で考えます。初参加者歓迎!
14	幼児の運動あそび	この分科会では、幼児期の運動あそびの目的・内容・指導法を発達に照らして検討します。近年はおにごっこやリレー等の実践から就学生の「走る」に焦点を当てながら、「競争」の意義や弊害について、考え続けてきました。本大会では支援を要する子どもを対象にした小集団保育をもとに、子どもたちが「豊かに走る」姿を実践と実技から学びます。
15	グループ学習	「みんなであげあがっていく」ことを目指したグループ学習について学び合います。これまで大事にされてきたグループ学習の考え方に学びながら、今大事にしたい「学びの共同性」に立ち返り、「集団の高まり」とは何かを検討します。
16	教科外体育(行事・部活動)	教科外体育として体育行事、課外体育として運動部活動を主に取り扱います。実践提案を元に、自治集団活動「が」育んだものと自治集団活動「を」育んだものについて考え、議論を深めたいと思います。
17	子ども・スポーツ・社会と学校づくり	子どもをスポーツの主体者に育てていこう、地域と学校の協働で子どもを育てていこうという視点から、これまでのあたり前を問い直しながら、子どもと大人(教師も含む)が、共に学び合い、認め合い、共創しあう関係を築こうとする実践をみんなで共有し、みんなが幸せになる学校と地域の在り方を探ります。
18	教育課程	本分科会では、2028年度の幼稚園から順次実施される次期指導要領に対する、同志会の新教育課程試案の具体像を探求します。新しい運動文化論に立脚し、文化研究をベースとした教科内容研究と子ども研究から生まれた教材づくりと集団づくりに裏打ちされた、新教育課程の構成原則の確立を目指します。

◆ひびき子ども学校 7日～9日

- 内容:自然豊かな児玉町で行う和太鼓体験を核にしたプログラム。場所は響スタジオ(本庄市)で活動します!
- 対象:小学生 ※中学生以上はご相談ください ■定員:10名
- 主講師:佐々木恵(一般社団法人 Moonlight Project 太鼓集団響)
- 体験先:響スタジオ(一般社団法人 Moonlight Project 太鼓集団響)〒367-0225 埼玉県本庄市児玉町飯倉 893-1

◆保育 7日～9日

- 7日～9日未就学児(今年4月3歳以上)
分科会開催中、お子さんをお預かりして、みなさんの研究活動を保障します。
■三日間の保育場所:富士見地区行政センター(和室)

◆参加費

- ①参加費【教職員・一般】3日間 8,000円 2日間 5,000円 1日のみ 3,000円
【学生】 3日間 4,000円 2日間 2,500円 1日 1,500円
【学生限定大レクパック】10,000円 ※文化交流のタベ(大レク)に加え3日間の大会に参加いただけます。※先着 60名様
【7日(金)記念講演のみ】 1,000円
- ②文化交流のタベ(大レク)8,500円 ※先着 200名様
- ③ひびき・子ども学校 20,000円 2泊3日(宿泊、食費、活動費、保険料)定員 10名まで
宿泊先&体験先:響スタジオ(太鼓集団響/一般社団法人 Moonlight Project)
〒367-0225 埼玉県本庄市児玉町飯倉 893-1
- ④保育 11,000円(3日間)部分保育も可
7日(金)3,000円 8日(土)5,000円 9日(日)3,000円 (おやつ、保険料)
- ⑤宿泊 各自でご予約ください [会場周辺のおすすめ宿について](#)
 - ・飯能第一ホテル(飯能駅徒歩3分)
 - ・ホテルヘリテイジ飯能(飯能駅1分)
 - ・マロウドイン飯能(東飯能駅徒歩5分)
 - ・奥むさし館(飯能駅徒歩10分)
 - ・ビジネスホテルおがわ(飯能駅徒歩6分)※西武池袋線沿線のホテルもいろいろあります(所沢駅より飯能駅まで25～30分)
- ⑥昼食は各自でご用意ください

◆申し込み方法

- 5月8日(金)申し込み受付開始。
★下記のピーテックス飯能大会申し込みサイトから申し込んでください
<https://2026hannoudoushikai.peatix.com/view>



飯能大会
申し込み
サイト
QRコード

【申し込み締め切り】

- ※文化交流のタベ・・・7月19日(日)まで
定員 200名に達した場合には締め切り前でもお断りする場合があります。お早めにお申し込みください。

※大会参加申し込み締め切り……………7月24日(金)まで

【参加申し込み後の変更・キャンセルについて】

変更・キャンセルはピーティックスサイトから連絡してください。

◆提案集

- 当日受付にてお渡しします。
※事前に申し込みされた方には、PDF資料(デジタル版)の閲覧用のパスワードをお知らせします。
同志会 HP からダウンロードしてください。

◆お問合せ先

飯能大会実行委員会 メール:doushikaisaitama@gmail.com 緊急時:090-4678-5598(飯島)